

評価結果と委員意見

中期目標項目	輸送の安全の確保① 交通事故防止
評価結果	A
委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 死者数、人身事故件数について、中期目標に向けて、減少傾向にあり、順調に推移していると判断する。 ○ 輸送の安全の確保に向けた取り組みは進んでいると考えます。引き続き、目標の達成に向けた施策の着実な実施をお願いします。 ○ 取り組み状況良好。更に強化を期待する。 ○ 目標値に極めて近い数字を達成していることから、A評価で良いと思います。さらに減少させるためには、より一層難しくなると思われます。機器の導入における費用と安全への取り組みの意識改革などの検討が必要です。震災以降、トラック輸送に対する国民の認識は深まり、重要視されてきたことをきっかけにドライバーの仕事に対する誇りやモチベーションを評価するようにしてほしいと思います。 ○ 国及び全ト協の目標に対してハード、ソフトとも着実に実績を積み上げていることは評価出来る。交付金の活用も適切である。ただ、人身事故件数の未達は注視しなければならない。 ○ 基礎となる労基法違反、告示違反などの改善が無ければ、一時的な数字で評価するのは正しくないと思う。
中期目標項目	輸送の安全の確保② 労災事故防止
評価結果	B
委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 労災事故による死者数、死傷者数の減少に向けて、引き続き、事故防止対策への取り組みにつき、ご尽力いただきたく存じます。 ○ 近年、運輸関係の労災事故は増加し、今後についても予断を許さない。一層の事故防止対策の促進に期待したい。 ○ 労災死亡数は、ここ数年横ばい状況にあり、加えて、過労死数を考慮すると対策が難しい側面はあるが、一層の対応強化が必要である。 ○ 健康診断の受診やT. Sへの立ち寄りなどは、労使ともに意識改革が必要と思われます。教育を含めた支援を引き続きお願いします。 ○ 荷役作業時事故が昨年増加してきていることに対しては、荷主団体等とも連携して対応を急ぐ必要がある。 ○ 各事業者の取り組みに問題。啓発活動の強化も必要。 ○ 基礎となる労基法違反、告示違反などの改善が無ければ、一時的な数字で評価するのは正しくないと思う。 ○ 達成度から見て、「おおむね順調」とは言えないのではないかと。目標と事業の適合について、一層の工夫・検討が必要と思われる。
中期目標項目	環境の保全① CO2削減
評価結果	A
委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地球規模の重要な課題であるが、トラック産業として、中期目標に向け、順調に推移している。社会的にももっと評価されるべきである。 ○ CO2の削減という地球規模の課題に対して、厳しい経営環境の中にも関わらず、目標達成に向けて尽力され、成果をあげていることは評価されると思います。 ○ 排出原単位・輸送分担とも順調に実績を伸ばしている。 ○ 今までの取り組みの成果、今後も計画に沿って進めて頂きたい。 ○ 低公害車の比率を高めることが重要である。 ○ 目標の達成や既存産業の進展は一定のものが認められるが、この分野はまだ課題が多い。
中期目標項目	環境の保全② NO2、SPM削減
評価結果	A
委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地球規模の重要な課題であるが、トラック産業として、中期目標に向け、順調に推移している。社会的にももっと評価されるべきである。 ○ 厳しい経営環境下ではありますが、目標は達成できているものと考えます。また、継続的に、ご尽力されていることも評価できると存じます。 ○ 達成度が明確になっている。 ○ 最新規制適合車への代替が進んでいることは評価できる。 ○ 低公害車の比率を高めることが重要である。 ○ 適合車代替への助成拡大が重要。

評価結果と委員意見

中期目標項目	事業適正化① 巡回指導
評価結果	B
委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導員の方の地道なご苦勞、努力は大変と思います。一方、巡回指導件数の増加も重要と思います。 ○ 事業の適正化に向けて、引き続き、下位評価層への改善に向けた取り組みを強化していただきたい。 ○ 巡回率の向上を強化すべき。 ○ 国との連携強化が課題である。 ○ A、B評価の事業所割合の増加をしっかりと目指していただきたい。巡回指導件数が減少している点が若干気がかりである。 ○ 指導員数が増加しているにもかかわらず、指導件数が減少していることは問題である。巡回指導における評価(A、B)UP。 ○ 内容も手段も適切と評価されながら、達成度の評価がBということは、目標が過大だったということなのか。
中期目標項目	事業適正化② 安全性評価事業
評価結果	A
委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係者の日々のご努力は大いに評価できるも、より一層の大きな期待をしたい。 ○ Gマークの認定事業者数は、確実に増加してきていると考えます。関係機関との協力の下、引き続き、取得事業者のさらなる増加に向けた取り組みにご尽力いただきたいと思います。 ○ Gマークの認定数の増は評価出来る。ただ、全体の未だ20%であり、インセンティブのあり方(拡大)やPRなど取得推進策が必要である。 ○ インセンティブの拡大で向上するものと確信する。 ○ インセンティブのより一層の明確化。 ○ Gマーク事業所の増加は重要であり、毎年度1,881程度ではなく、更にハイピッチに増加させていただくことを期待したい。事故発生率など取得者、未取得者で大きく異なっていることにも注目したい。
中期目標項目	輸送サービス改善・向上① 引越事業等の苦情対策
評価結果	B
委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 輸送サービスの改善に向けて、相談体制の充実強化に努めていただくとともに、新たな引越優良事業者制度の構築に期待したい。 ○ サービスの多様化、複雑化といった困難な状況に対する真摯な取り組みは大いに評価出来る。ただし、取り組みの途上と理解。 ○ 始めたばかりの取り組み状況、今後に期待。相談と苦情の区分けを。 ○ 引越事業者の苦情は、サービスレベルの問題だけでなく、接客対応の問題がかなりの割合を占めます。通信サービス契約とのセット販売など新たな販売方法によるトラブルも見られます。多くの事業者が努力しているにもかかわらず、これらの事業者により、業界全体の評価を下げていると思います。早急な対処を望みます。 ○ 引越苦情件数の推移(300件前後)をどう見るか。疑問もある。ただ、引越優良事業者制度の早期創設を望みたい。 ○ 苦情、相談件数の中で苦情が増加しているのかといった基本的な分析を是非急ぐべき。
中期目標項目	輸送サービス改善・向上② 情報技術の活用、経営基盤の強化等
評価結果	B
委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題の分析を進めるとともに、重点的対応を図っていただきたい。 ○ ITについては、中小企業への普及が大きな課題である。労働力確保のための具体的、有効的対策が必要である。 ○ 各情報システムの普及に向け、全ト協としての具体的取組戦略を考えていくべきと考える。経営基盤強化は多くの業者が苦勞する中、まだ、行っていない対策もあるのではないかと。

評価結果と委員意見

中期目標項目	災害時緊急輸送体制の整備
評価結果	B
委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今般の未曾有の災害の中、被災地への緊急物資の輸送に関しては、関係者のご尽力に感謝申し上げたいと存じます。緊急輸送体制の確立には、依然課題は多いと思いますが、引き続き、解決に向けた取り組みをお願いしたいと存じます。 ○ 可能な限りの対応が行われたといえるように思われる。今後の課題が確認されたことも収穫の1つではないか。 ○ 未整備部分の早期の整備をお願いしたい。 ○ いつ、何どき天災は訪れるか分からない。早急に体制整備が必要である。 ○ トラックによる緊急輸送は国民生活、日本経済に大きな役割を担うものであり、諸課題を国、自治体と早急に議論し、体制の確立を図ることが急務。 ○ 国・地方自治体との連携をさらに強化していただきたい。インフラ(道路網)と燃油の優先度。 ○ 平時の計画への反映をどうするのか。